

2022年6月30日
株式会社ADワークスグループ
(東証プライム：2982)

**エー・ディー・ワークス、「ひぎんSDGs私募債」を発行
肥後銀行の銀行保証付私募債で、資金調達を多様化
～発行額の0.2%相当を、熊本文化財復興支援金に寄付～**

株式会社ADワークスグループ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：田中秀夫)の子会社で、収益不動産ソリューション事業の中核をなす株式会社エー・ディー・ワークス(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中秀夫)は、2022年6月30日付で、株式会社肥後銀行(本店：熊本県熊本市、取締役頭取：笠原慶久)を総額引受人とする「ひぎんSDGs私募債」(以下「本社債」)を発行いたしました。

当社は、現在推進中の「第1次中期経営計画(2021年12月期～2023年12月期)」においてSDGs経営の推進を標榜しており、その趣旨が肥後銀行の適債基準を満たしたことによって、本社債の発行が実現したものです。

発行総額は1億円、運転資金として機動的に活用いたします。また発行額の0.2%相当を熊本文化財復興支援金に対し、肥後銀行より寄付する予定です。

1. 本社債の概要：

本社債の概要は以下の通りです。

私募債の名称	：ひぎんSDGs私募債
発行企業	：株式会社エー・ディー・ワークス
引受人	：株式会社肥後銀行
社債総額	：1億円
社債発行日	：2022年6月30日
償還期間	：3年
資金使途	：運転資金
寄付の趣旨	：私募債発行額の0.2%相当を、熊本文化財復興支援金に対し、肥後銀行より寄付

2. 2つの戦略的意義：

本社債の発行は、当社グループにおいて2つの戦略的意義を有しています。

まず1つ目は、当社グループの「SDGs 経営の推進」です。

当社は現在推進中の「第1次中期経営計画（2021年12月期～2023年12月期）」においてSDGs 経営の推進を標榜しており、主力の収益不動産販売事業が「社会資本ともいべき不動産のポテンシャルを目利き力と商品企画力で最大化する」という社会的意義を有すること、収益不動産販売事業の積極拡大をもって、不動産市場でのESG投資の広がりにも寄与し、まずはそれを通じてSDGs 経営を推進することを明示しております。

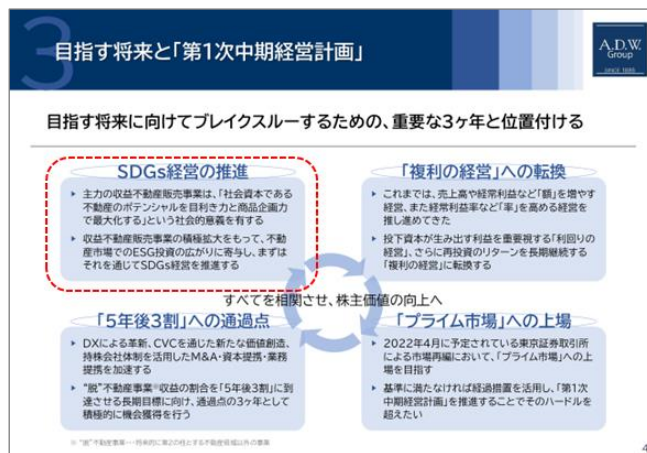
こういった趣旨の一環として、本社債の発行が実現いたしました。

次に2つ目は、Debt 性の調達にウェイトを置いた資金調達手法の多様化です。

現況の当社の財務状況は、WACC（加重平均資本コスト）がROIC（投下資本利益率）を上回り超過利潤はマイナスの状態ですが、「第1次中期経営計画」を通じてこれを逆転し、超過利潤を生み出しそれを拡大して行ける経営への転換を目指しています。

もとより成長のための資金需要は旺盛であり、それに対応するべく、これまではライツ・オフアリングなど Equity 性の調達を実施してきた経緯があります。これに対し今後は、WACC に目配りをしながら、Debt 性の調達にウェイトを置いた資金調達手法の多様化を図ることが必要です。

本社債の発行による資金調達は、そのひとつの手法としてたいへん有力なものであり、引き続き同施策実施の他行への訴求を検討してまいります。



SDGs 経営：「第1次中期経営計画」より抜粋

ご参考：

株式会社 AD ワークスグループ 会社概要

所在地	東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 5 階
代表者	代表取締役社長 CEO 田中 秀夫
創業	1886 年（明治 19 年）2 月
設立	2020 年 4 月 1 日に持株会社体制に移行、前身は 1936 年 5 月設立
グループ 事業内容	収益不動産賃貸・販売・開発事業（国内／海外）／不動産小口化投資商品 販売事業／プロパティ・マネジメント事業／不動産コンサルティング ／建築・工事事業／不動産テック事業／コーポレート・ベンチャー・キ ャピタル事業
資本金	60 億 84 百万円（2021 年 12 月 31 日現在）
URL	https://www.adwg.co.jp

本件に関するお問い合わせ：

株式会社 AD ワークスグループ

広報室 高場

ディスクロージャー統括室 山口

E-mail：pr@re-adworks.com